

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム  
文書バージョン: 4.1 Support Package 5 - 2014-11-17

## SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームウィジェットユーザガイド



# 目次

<b>1</b>	<b>ドキュメント履歴.....</b>	<b>4</b>
<b>2</b>	<b>ウィジェットの理解.....</b>	<b>5</b>
2.1	ウィジェット用コンテンツ作成のためのガイドライン.....	5
<b>3</b>	<b>SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム向けウィジェットのインストール.....</b>	<b>6</b>
<b>4</b>	<b>リポジトリ接続の管理.....</b>	<b>7</b>
4.1	リポジトリ接続を管理する.....	7
4.1.1	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続認証情報を入力する.....	8
4.1.2	SAP NetWeaver Application Server コンポーネント接続の認証情報を入力する.....	8
<b>5</b>	<b>ウィジェット用 Web Dynpro アプリケーションの設定.....</b>	<b>10</b>
5.1	SAP NetWeaver Application Server コンポーネント上でウィジェットを有効化する.....	10
5.2	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールをインストールおよび設定する.....	11
<b>6</b>	<b>コンテンツへのアクセス.....</b>	<b>12</b>
6.1	リポジトリへのログイン.....	12
6.2	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリを検索する.....	12
6.2.1	検索結果の管理.....	13
6.3	リポジトリ内のコンテンツの展開.....	13
<b>7</b>	<b>ウィジェットの作成.....</b>	<b>15</b>
7.1	リポジトリ内の Dashboards ファイルからウィジェットを作成する.....	15
7.2	ローカルの Dashboards SWF ファイルからウィジェットを作成する.....	15
7.3	Web Intelligence ドキュメントからウィジェットを作成する.....	16
7.3.1	Web Intelligence ウィンドウの使用.....	16
7.4	Web Dynpro アプリケーションからウィジェットを作成する.....	17
<b>8</b>	<b>ウィジェットの管理.....</b>	<b>18</b>
8.1	ウィジェットの表示.....	18
8.2	ウィジェットを開く.....	18
8.3	ウィジェットを閉じる.....	18
8.4	ウィジェット履歴をクリアする.....	19
8.5	ウィジェットを共有する.....	19
8.6	ウィジェットの名前を変更する.....	19
8.7	Web Intelligence ウィジェットを最新表示する.....	20
8.8	Web Intelligence コンテンツをドラッグアンドドロップする.....	20
8.9	Web Intelligence ウィジェットのコンテンツをコピーして貼り付ける.....	20

---

8.10	Web Intelligence ウィジェットのプロンプト値を表示して設定する. . . . .	21
8.11	Windows サイドバーにウィジェットを追加する. . . . .	21
8.12	ウィジェットビューの使用. . . . .	22
8.12.1	ビューを作成する. . . . .	22
8.12.2	ウィジェットビューを変更する. . . . .	22
8.12.3	ビューバーの表示/非表示を切り替える. . . . .	22
8.12.4	ビューバーを使用する. . . . .	23
<b>9</b>	<b>RSS フィードの使用. . . . .</b>	<b>24</b>
9.1	RSS フィードを購読する. . . . .	24
9.2	RSS フィードを最新表示する. . . . .	24
9.2.1	RSS 受信ボックスから RSS フィードを削除する. . . . .	24

# 1 ドキュメント履歴

以下の表は、最も重要なドキュメント変更の概要です。

バージョン	日付	説明
SAP BusinessObjects 4.1	2013 年 1 月	このドキュメントの初版です。
SAP BusinessObjects 4.1 SP1	2013 年 8 月	SAP BusinessObjects 4.1 SP1 リリースによるアップデート
SAP BusinessObjects 4.1 SP2	2013 年 11 月	以下の節が更新されました。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">Web Intelligence ドキュメントからウィジェットを作成する [16 ページ]</a></li><li>• <a href="#">Web Intelligence ウィジェットのプロンプト値を表示して設定する [21 ページ]</a></li></ul>

## 2 ウィジェットの理解

ウィジェットとは、頻繁に使用される機能に簡単に素早くアクセスすることができ、デスクトップからビジュアルな情報を得られるようにするミニアプリケーションです。SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム機能のウィジェットは、SAP NetWeaver Application Server コンポーネントの BI プラットフォームおよび Web Dynpro アプリケーションにある企業の既存のビジネスインテリジェンス (BI) コンテンツに社内の誰もがアクセスできる機能を提供します。

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム向けウィジェットを使用して、Web Intelligence ドキュメント、Dashboards モデルおよび Web Dynpro アプリケーションなどの既存のコンテンツを検索または参照し、必要なときにすぐに利用できるように、デスクトップにキー情報を貼り付けます。

ウィジェットとして、コンテンツはウィジェットフレームワークから次の機能を取得します。

- ユーザが制御するサイズと位置設定
- 自動最新表示
- 上部のアプリケーションウィンドウとしてのオプション設定
- 完全な SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームセキュリティ (Web Intelligence レポートパーツおよび Dashboards モデルのみ)
- 表示の保存
- データコンテキストステータスの保存 (Web Intelligence レポートパーツのみ)
- 詳細なレポートへの Web Intelligence OpenDocument リンク (Web Intelligence ドキュメントのみ)
- タブ付きビュー

### 2.1 ウィジェット用コンテンツ作成のためのガイドライン

理想的なウィジェットとは、使用頻度や更新頻度の高いメジャーまたはメトリクスをビジュアルに表示する、軽量のウィジェットです。

ウィジェットに適したものであるためには、BI コンテンツが次の条件を満たしている必要があります。

- 情報が頻繁に変更され、一日を通してモニタリングする必要がある。
- 情報の表示が、パフォーマンスを評価するのに適している。
- コンテンツが、アクションの必要性を判断するのに十分な情報を提供する。

できるだけ多くの情報を含めようとしても、多すぎる情報は、素早く状況を判断する力の妨げとなることがあります。

#### ➡ ヒント

ウィジェットに表示するデータの量が多い場合は、最も重要で頻繁に更新される情報のみ表示することを検討し、サポート情報へのリンクを追加します。

---

## 3 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム向けウィジェットのインストール

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム向けウィジェットは、各ユーザのコンピュータにインストールする必要があります。ユーザが各自のシステムでウィジェットセットアッププログラムを実行するか、システム管理者がネットワークを通じてすべてのコンピュータにプログラムをインストールするために、サイレントインストールを実行することができます。


さらに、Web Dynpro アプリケーションにアクセスするため、管理者は SAP NetWeaver Application Server コンポーネントでこれらのアプリケーションをウィジェットとして設定する必要があります。

ウィジェットは、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールのセットアッププログラムで、デスクトップクライアントアプリケーションの一部としてインストールされます。ウィジェットにアクセスするには、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールをインストールする必要があります。このツールのインストール方法については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームインストールガイド*の *SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールのインストールのトピック*を参照してください。

## 4 リポジトリ接続の管理

ウィジェットを使用して SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームと SAP NetWeaver Application Server コンポーネントのコンテンツにアクセスするには、リポジトリに接続しておく必要があります。[[ホストとログインの基本設定](#)]ダイアログボックスを使用し、必要に応じて、接続の追加、編集、削除、およびリポジトリへの接続または接続解除を行うことができます。追加のリポジトリへの接続を追加して、デスクトップで複数のソースからのデータを表示することができます。

ウィジェットの機能はバックグラウンドで動作するプロセスであり、セットアップしたサーバに接続された状態を維持します。


Windows 通知領域にある **ウィジェット** ボタン (  ) が接続ステータスを表示します。

- ログイン中は、アイコンが緑色で点滅します。
- 接続がアクティブな場合は赤になります。

### 警告

サーバ接続が失われた場合、**ウィジェット** ボタンの色は変わりません。サーバドキュメントが表示されない場合、**ウィジェット** ボタンを右クリックし、[ホストとログインの基本設定](#) をクリックしてサーバ接続の詳細を確認し、必要に応じて再接続します。

### 4.1 リポジトリ接続を管理する

- ウィジェット** ボタン (  ) を右クリックして、[ホストとログインの基本設定](#) を選択します。
- [[ホストとログインの基本設定](#)] ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します。

オプション	説明
SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続の追加	 <a href="#">新規</a> ➤ <a href="#">SAP BusinessObjects BI プラットフォーム</a> ➤ の順にクリックして、 <a href="#">認証情報</a> ダイアログボックスに接続情報を入力します。OK をクリックします。  詳細については、 <a href="#">SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続認証情報を入力する [8 ページ]</a> を参照してください。
SAP NetWeaver アプリケーションサーバコンポーネント接続の追加	 <a href="#">新規</a> ➤ <a href="#">SAP NetWeaver Application Server</a> ➤ の順にクリックして、 <a href="#">[認証情報]</a> ダイアログボックスに接続情報を入力します。OK をクリックします。  詳細については、 <a href="#">SAP NetWeaver Application Server コンポーネント接続の認証情報を入力する [8 ページ]</a> を参照してください。
接続の削除	接続を選択し、 <a href="#">[削除]</a> をクリックします。  <a href="#">[ホストの削除]</a> ダイアログボックスで、 <a href="#">[はい]</a> をクリックします。
リポジトリへの接続または接続解除	接続を選択し、 <a href="#">[接続]</a> または <a href="#">[接続解除]</a> をクリックします。
接続の編集	接続を選択し、 <a href="#">[編集]</a> をクリックします。 <a href="#">[認証情報]</a> ダイアログボックスで変更を行い <a href="#">[OK]</a> をクリックします。

オプション	説明
	<p><b>i 注記</b></p> <p>接続の名前は変更できません。</p>

### 4.1.1 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続認証情報を入力する

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリに接続するには、ログオン認証情報を入力する必要があります。これらの手順を実行して、BI プラットフォーム接続の接続認証情報を設定してください。

1. **[認証情報]** ダイアログボックスが表示されていない場合は、**ウィジェット** ボタンを右クリックして **[ホストとログインの基本設定]** を選択します。
2. **[ホストとログインの基本設定]** ダイアログボックスで、**新規** **SAP BusinessObjects BI プラットフォーム** をクリックします。
3. **[認証情報]** ダイアログボックスで、次の情報を入力します。

オプション	説明
ホスト名	BI プラットフォームサーバの名前を入力します。
ホスト URL	<p>Web サービスの URL を入力します。</p> <p><b>i 注記</b></p> <p><b>[ホスト名]</b> ボックスに値を入力すると、この値が自動的に入力されます。</p>
ユーザ名	ホストサーバにアクセスするためのユーザ名を入力します。
パスワード	ホストサーバにアクセスするためのパスワードを入力します。
認証	この値は、接続が確立されるとホストによって更新されます。
自動的にサインインする	ウィジェットの起動時にこのリポジトリに自動的にサインインする場合、このオプションを選択してください。

4. **[OK]** をクリックします。



SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続が **[ホストとログインの基本設定]** ダイアログボックスの接続の一覧に追加され、ウィジェットが指定された認証情報によるログオンを試みます。


### 4.1.2 SAP NetWeaver Application Server コンポーネント接続の認証情報を入力する

SAP NetWeaver Application Server コンポーネントに接続するには、ログオン認証情報を入力する必要があります。これらのステップを実行して、SAP NetWeaver Application Server コンポーネント接続の接続認証情報を設定します。

1. **認証情報** ダイアログボックスが表示されていない場合は、**ウィジェット** ボタンを右クリックして **ホストとログインの基本設定** を選択します。



2. ホストとログインの基本設定ダイアログボックスで、 **新規**  をクリックします。
3. [認証情報]ダイアログボックスで、次の情報を入力します。

オプション	説明
クライアント	アプリケーションサーバコンポーネントのクライアント番号を入力します。
ホスト名	SAP NetWeaver Application Server コンポーネントの名前とサーバのポートを入力します。たとえば、 <b>businessobjects02:8080</b> と入力します。
ホスト URL	アプリケーション URL を入力します。  <div>  <b>注記</b>            [ホスト名] ボックスに値を入力すると、この値が自動的に入力されます。         </div>
ユーザ名	ホストサーバにアクセスするためのユーザ名を入力します。
パスワード	ホストサーバにアクセスするためのパスワードを入力します。
認証	サーバでサポートされている認証を表示します。
自動的にサインインする	ウィジェットの起動時にこのリポジトリに自動的にサインインする場合、このオプションを選択してください。

4. [OK] をクリックします。

SAP NetWeaver Application Server コンポーネント接続が**ホストとログインの基本設定**ダイアログボックスの接続の一覧に追加され、ウィジェットが指定された認証情報によるログオンを試みます。

## 5 ウィジェット用 Web Dynpro アプリケーションの設定

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのウィジェットのユーザが、Web Dynpro アプリケーションをウィジェットで使えるようにする前に、SAP NetWeaver technology platform 管理者はアプリケーションをウィジェットとして使用可能にする必要があります。SAP Web Dynpro Flex Client サポートについては、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドの *SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム向けウィジェットのトピックを参照してください。

### 5.1 SAP NetWeaver Application Server コンポーネント上でウィジェットを有効化する

Web Dynpro アプリケーションをウィジェットとして利用可能にするために、管理者は SAP NetWeaver Application Server コンポーネントでウィジェットアプリケーションを設定して有効にする必要があります。

このタスクを実行するには、管理者権限が必要です。

1. [\[SAP ログオン\]](#) を開きます。
2. [\[新規\]](#) アイコンをクリックします。  
[\[システムエントリの新規作成\]](#) ウィンドウが表示されます。
3. 検索項目フィールドに、ウィジェットで使用可能にするアプリケーションを含む SAP NetWeaver サーバコンポーネントの名前を入力します。サーバシステムを選択し、[\[次へ\]](#) をクリックします。  
[グループ/サーバー](#) 一覧が表示されます。
4. [\[PUBLIC\]](#) を選択し、[\[完了\]](#) をクリックします。
5. [SAP ログオン](#) ウィンドウで、追加した SAP NetWeaver サーバコンポーネントをダブルクリックします。  
[SAP](#) バックエンドサーバログオンページが表示されます。
6. SAP バックエンドサーバにログオンするための認証情報を入力して、[Enter](#) キーを押します。
7. [\[SAP Easy Access\]](#) ページに進み、ツールバー上のボックスにトランザクションコードを入力し、[Enter](#) キーを押します。  
[\[Administrator\]](#) トランザクションページが表示されます。
8. 標準タイプが選択されていることを確認して、[実行](#) をクリックします。  
["アプリケーション ID の更新" ビューの表示: 概要トランザクションアクセスページ](#)が表示されます。
9. トランザクションアクセスページツールバーで、[表示](#) [変更](#) をクリックします。  
[\[情報\]](#) ダイアログボックスが表示されます。
10. [\[続行\]](#) をクリックします。[トランザクションアクセスツールバー](#)に新しいオプションのセットが表示されます。
11. トランザクションアクセスツールバーで、[ウィジェット管理者](#) をクリックします。  
[\[ウィジェット管理\]](#) ダイアログボックスが表示されます。
12. ウィジェットとして有効にするアプリケーションを選択し、[\[設定を保存\]](#) をクリックします。

#### i 注記

ポータルが Java ベースの場合、SAP Enterprise Portal の URL を入力してください。

選択したアプリケーションが [\[アプリケーション ID の保持\]](#) ページに表示されます。

### i 注記

ウィジェットとして有効にするために選択したアプリケーションが、これらのアプリケーションへのアクセス権を割り当てられているユーザに対して利用可能になります。"ロールメニュー" への Web Dynpro アプリケーションの割り当てについては、<http://help.sap.com> で利用可能な SAP NetWeaver Business Client ソフトウェア 1.0 (PFCG 接続) マニュアルの PFCG: メニューツピックを参照してください。

これで、次のサーバ情報を他のユーザに提供することができます。

- クライアント: SAP ABAP システムクライアントの情報
- ホスト名: SAP ABAP システムのサーバおよびポートの情報

## 5.2 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールをインストールおよび設定する

以下のサーバ情報については、このタスクを実行する前にシステム管理者にお問い合わせください。

- クライアント: SAP ABAP システムクライアントの情報
- ホスト名: SAP ABAP システムのサーバおよびポートの情報

BI プラットフォームクライアントツールを設定するときには、ウィジェットを検索して実行するサーバと、これらのサーバに対するログイン認証情報も指定します。最初の設定時またはその設定以降に、サーバを追加することができます。

1. SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツール [setup.exe](#) プログラムを実行します。[setup.exe](#) プログラムによって BI プラットフォームクライアントツールが自分のマシンにインストールされます。
2. ▶ スタート ▶ プログラム ▶ SAP Business Intelligence ▶ SAP BusinessObjects BI プラットフォーム 4 ▶ ウィジェット ▶ を実行します。  
[ウィジェット] アイコンがシステムトレイに表示されます。
3. システムトレイから、[ウィジェット](#) アイコンを右クリックして [ホストとログインの基本設定](#) を選択します。
4. [新規](#) をクリックし、[SAP NetWeaver Application Server](#) コンポーネントを選択します。  
[認証情報] ダイアログボックスが表示されます。
5. [クライアント](#)、[ホスト名](#) および [ホスト URL](#) ボックスに、管理者から提供された認証情報を入力します。  
ホスト URL は自動的に生成されます。管理者から別の URL を使用するよう指示があった場合にのみ、この URL を変更してください。ホスト URL は、標準プロトコルまたはセキュア (SSO) プロトコルのどちらかで認証されます。
6. [ユーザ名](#) と [パスワード](#) フィールドにそれぞれユーザ名とパスワードを入力して、[OK](#) をクリックします。
7. システムトレイから、[ウィジェット] を右クリックして、[ドキュメント一覧エクスプローラ] を選択します。  
[ドキュメント一覧エクスプローラ] ウィンドウに、設定したサーバで利用できるウィジェットの一覧が表示されます。

### i 注記

管理者によって自分に割り当てられたウィジェットのみを使用できます。

8. ウィジェットをダブルクリックして実行します。


## 6 コンテンツへのアクセス

ウィジェット機能が SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリに接続されている場合、Dashboards モデルまたは Web Intelligence レポートパーツをデスクトップに表示するウィジェットを作成することができます。また、Crystal Reports、Microsoft Excel、Microsoft Word、Microsoft PowerPoint、および Adobe PDF を含むさまざまな形式で、情報を見るために、使用可能なリポジトリを検索および閲覧することができます。

ウィジェット機能が SAP NetWeaver Application Server コンポーネントに接続されている場合、Web Dynpro アプリケーションも取得することができます。

### 6.1 リポジトリへのログイン

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームまたは SAP NetWeaver Application Server コンポーネント内の BI コンテンツにアクセスするには、ウィジェット機能がサーバにログインしている必要があります。接続が自動的にログインするように設定している場合、ウィジェット機能の起動時にログインします。自動ログインを設定していない場合、

Windows の通知領域で [ウィジェット] ボタン (  ) を右クリックして [ログイン] を選択することで、すべての設定済みリポジトリにログインすることができます。

特定のリポジトリにログインする場合、ウィジェットボタンを右クリックして、[ホストとログインの基本設定](#)を選択します。[ホストとログインの基本設定] ダイアログボックスで、サーバを選択して[接続]をクリックします。


リポジトリ接続が 1 つもない場合、ウィジェットアイコンを右クリックして[ログイン](#)をクリックすると、接続情報を入力できるように[認証情報](#)ダイアログボックスが表示されます。

### 6.2 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリを検索する

ウィジェットの機能を使用すると、接続している SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリ全体を一度に検索することができます。

#### i 注記

SAP NetWeaver Application Server コンポーネント内を検索することはできません。Web Dynpro アプリケーションを検索するには、[リポジトリ内のコンテンツの展開 \[13 ページ\]](#)を参照してください。

1. Windows のタスクバーで、ウィジェットボタン (  ) を右クリックし、[コンテンツ検索](#)を選択します。
2. 検索条件を入力し、[検索](#)ボタンをクリックします。

#### ➡ ヒント

特定のサーバのみを検索する場合は、[検索] ダイアログボックスで、ドロップダウンメニューからサーバ名を選択します。

## 6.2.1 検索結果の管理

[検索結果] ウィンドウには、[エクスプローラ] ペインおよび [タイトル] ペインが含まれます。

タイトルペインには、検索結果が関連度順、つまり、検索条件に対するコンテンツの一致度の順で一覧表示されます。並べ替え順序を変更するには、基準にする列(タイトル、スコア、パス、またはデータの更新日時)の列見出しをクリックします。

ファセット検索を使用して、検索結果をさらに細かく指定することができます。[エクスプローラ] ペインには、検索結果とツリービューが表示されます。このツリービューには、現在の検索結果のフィルタに使用できる結果履歴とファセット分類が表示されます。特定の分類の結果のみを表示するには、ファセットをクリックします。

### → ヒント

各ファセットの横にあるかっこ内の数字は、その分類内で見つかったアイテム数を表しています。

ウィジェット機能は、前回の検索結果を保持しているので、それらのアイテムを簡単に再検索することができます。保存されている検索を保持する必要がなくなった場合は、次のいずれかを実行します。

- 選択された結果を[エクスプローラ]ペインから削除するには、[検索結果を削除]をクリックします。
- 保存されている検索結果をすべて削除するには、[履歴を削除]をクリックします。

## 6.3 リポジトリ内のコンテンツの展開

ドキュメント一覧エクスプローラを使用して、接続されているすべてのサーバのコンテンツを参照することができます。エクスプローラは、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームおよび SAP NetWeaver Application Server コンポーネント接続を含め、接続されている複数のサーバで、フォルダおよびカテゴリを安全に移動します。

リポジトリ内のコンテンツを参照するには、ウィジェットボタン (  ) を右クリックして、ドキュメント一覧エクスプローラを選択します。

エクスプローラの表示をカスタマイズするには、次のいずれかの手順に従います。

- カテゴリで結果をグループ化するには、[カテゴリの表示] をクリックします。
- フォルダ内の結果を整理するには、[フォルダビュー] をクリックします。
- 結果一覧を最新表示にするには、[最新表示] をクリックします。
- 表示モードを設定するには、[アイコン]、[一覧] または [詳細] を選択します。

一覧でアイテムを開くには、アイテムをダブルクリックします。ドキュメントの種類によって表示方法が異なります。

ドキュメントの種類	表示
Web Intelligence ドキュメント	新しいウィンドウで表示します。
ダッシュボード	エクスプローラ表示ペイン内で表示します。
Crystal レポート、BI ワークスペース、およびモジュール	ブラウザウィンドウで表示します。
Adobe PDF、Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint	関連づけられたアプリケーションで表示します。

ドキュメントの種類	表示
SAP XBCML ウィジェット	デスクトップにウィジェットとして表示されます。

#### ➡ ヒント

Web Intelligence および Dashboards ドキュメントの場合、ウィジェットを作成するためにデスクトップにドラッグすることもできます。

## 7 ウィジェットの作成

リポジトリの検索結果またはエクスプローラから、Web Intelligence ドキュメントおよび Dashboards モデルをデスクトップにドラッグするか XBCML ウィジェットをダブルクリックすることにより、デスクトップウィジェットを作成することができます。

### i 注記



Crystal レポート、BI ワークスペース、モジュールからはウィジェットを作成できませんが、ウィジェット検索またはエクスプローラウィンドウからこれらのドキュメントを開くことはできます。また、Adobe PDF、Microsoft Word、Microsoft Excel、および Microsoft PowerPoint ドキュメントも開くことができます。

### 7.1 リポジトリ内の Dashboards ファイルからウィジェットを作成する

リポジトリ内のファイルにアクセスするには、ウィジェット機能が SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームにログインしている必要があります。

デスクトップウィジェットを作成するため BI プラットフォームリポジトリで使用可能な Dashboards ファイルを使用することができます。ウィジェットはソースファイルにリンクしているので、リポジトリのデータが変更されると、指定された更新スケジュールに従って、デスクトップウィジェットが更新されます。

1. 次のいずれかを実行します。


- ファイルを検索するには、**ウィジェット** ボタン(  )を右クリックして、**[コンテンツ検索]**を選択します。
- ファイルを参照するには、**[ウィジェット]** ボタン(  )を右クリックして、**[ドキュメント一覧エクスプローラ]**を選択します。

2. 次のいずれかの方法で、ウィジェットを作成できます。

- **検索結果一覧**から、Dashboards ファイルをダブルクリックする。
- **[エクスプローラ]** ペインから、Dashboards ファイルをデスクトップにドラッグする。
- **[エクスプローラ]** ペインから、**ビューア** ペイン内で Dashboards ファイルをダブルクリックして開いてから、デスクトップにドラッグする。

### 7.2 ローカルの Dashboards SWF ファイルからウィジェットを作成する

SAP BusinessObjects Dashboards では、Dashboards モデルを SWF ファイルとしてエクスポートできます。Web サイトやその他のソースから、電子メールで Dashboards SWF ファイルを受信したら、それをウィジェットにインポートして、デスクトップウィジェットを作成することができます。ウィジェットを作成すると、ソースの Dashboards モデルにリンクされます。ソースファイルでデータが変更されると、指定された更新スケジュールに従って、デスクトップウィジェットが更新されます。

1. **ウィジェット** ボタン (  )を右クリックして、**[ディスクからウィジェットを開く]**を選択します。
2. Dashboards SWF ファイルの保存場所に移動します。

3. **[ウィジェットを開く]** ダイアログボックスで、**[ファイルタイプ]** を Flash ファイル (\*.swf) に変更します。
4. SWF ファイルをダブルクリックして開きます。

Dashboards SWF ファイルが、ウィジェットとしてデスクトップ上に表示されます。

## 7.3 Web Intelligence ドキュメントからウィジェットを作成する


使用可能なリポジトリに Web Intelligence ドキュメントがある場合、そのレポートパーツからデスクトップウィジェットまたは Microsoft Outlook オブジェクトを作成することができます。ウィジェットはリポジトリ内のソースとなる Web Intelligence ドキュメントにリンクされているので、ソースデータが変更されると、ウィジェットが更新されます。

### i 注記

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのウィジェットは、インフォメーションデザインツールを使用して作成されたユニバース (UNX) に基づく Web Intelligence ドキュメントをサポートしていません。また、プロンプトは、直接アクセスされる BEx クエリデータに基づく Web Intelligence ドキュメントではサポートされていません。

### i 注記

Microsoft Outlook オブジェクトを使用するには、Outlook がテキストエディタとして Microsoft Word を使用して、HTML 形式のメッセージを使用するように設定しておく必要があります。

1. 次のいずれかを実行します。
  - ドキュメントを検索するには、**ウィジェットボタン** (  ) を右クリックして、**コンテンツ検索** を選択します。
  - ドキュメントを参照するには、**ウィジェットボタン** を右クリックして、**ドキュメント一覧エクスプローラ** を選択します。
2. ドキュメントをダブルクリックすると、Web Intelligence ビューア内に表示されます。
3. ウィジェットを作成するには、レポートをビューアからデスクトップにドラッグします。

### 7.3.1 Web Intelligence ウィンドウの使用

[Web Intelligence] ウィンドウの上部には、次の操作が可能なツールバーがあります。

- ズームレベルの変更
- 特定のテキスト文字列の検索
- レポートページの変更
- レポートマップの表示/非表示
- レポート表示のページモードと一覧モードの切り替え
- オブジェクトの右クリック操作による、ビューアからのセル、チャート、またはテーブルの単一コンテンツのコピー


ナビゲーションペインには、ドキュメントで利用できるレポートの一覧が表示されます。現在選択しているレポートが強調表示されます。ナビゲーションマップを使用すると、レポートやレポートセクションに移動できます。ビューペインは、ナビゲーションペインの一覧で選択した項目と自動的に同期されます。



## 7.4 Web Dynpro アプリケーションからウィジェットを作成する

リポジトリ内のファイルにアクセスするには、ウィジェットが SAP NetWeaver Application Server コンポーネントリポジトリにログインしている必要があります。

XBCML ウィジェットとして登録されている Web Dynpro アプリケーションを、デスクトップウィジェットとして SAP NetWeaver Application Server コンポーネントに追加することができます。ウィジェットはソースファイルにリンクしているので、リポジトリのデータが変更されると、指定された更新スケジュールに従って、デスクトップウィジェットが更新されます。

1. ウィジェットボタン (  ) を右クリックして、ドキュメント一覧エクスプローラを選択します。
2. エクスプローラペインで、XBCML ウィジェットファイルをダブルクリックしてデスクトップに追加します。


## 8 ウィジェットの管理

デスクトップにウィジェットを追加した後、ウィジェットの位置の調節、表示/非表示の切り替え、ウィジェットサイドバーへの追加、デスクトップに表示される情報を管理するためのウィジェットビューの作成が可能となります。

### 8.1 ウィジェットの表示


ウィジェットは、ウィジェットを閉じるまでデスクトップに表示されています。ただし、他のアプリケーションで作業する場合、これらのアプリケーションでウィジェットが隠れてしまう場合があります。

他のアプリケーションを閉じたり最小化することなくウィジェットを表示するために、他のアプリケーションの前にウィジェットを表示することができます。[ウィジェット] ボタンを右クリックして、[ウィジェットの表示] をクリックし、この設定を有効にします。

他のアプリケーションでウィジェットが再度隠れてしまわないようにする場合、常に表示されるように、[プロパティ] ボタン (  ) をクリックし、[ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスで [常に手前に表示] オプションをオンにします。

### 8.2 ウィジェットを開く

以前にウィジェットを閉じた場合、ディスク、リポジトリ、ウィジェット履歴からそのウィジェットを開くことができます。

1. Windows の通知領域で **ウィジェット** ボタンを右クリック (  ) Windows のタスクバーで、次のいずれかを実行します。
  - 履歴からウィジェットを開くには、[最新のウィジェット] をポイントし、一覧からウィジェットをクリックします。

#### i 注記


[最新のウィジェット] 一覧には、最近使用したウィジェットが 5 個まで表示されます。最新のウィジェットをさらに表示するには、[その他] をクリックします。[履歴] ダイアログボックスには、最近使用したウィジェットが 50 個まで表示されます。

- ディスクからウィジェットを開くには、[ディスクからウィジェットを開く] をポイントします。[ウィジェットを開く] ダイアログボックスで、ウィジェットの場所を参照してファイルを選択し、[開く] をクリックします。

### 8.3 ウィジェットを閉じる

デスクトップにウィジェットを表示しないようにする場合、ウィジェットを閉じます。ウィジェットを閉じても、システムから削除されるわけではなく、ウィジェットを再度開けば、またデスクトップに表示されます。


1. ウィジェット上にマウスカーソルを移動します。  
ウィジェットの右側に [ウィジェット] メニューが表示されます。

2. [ウィジェット] メニューの上部にある閉じるボタン (  ) をクリックします。
3. [はい] をクリックします。

ウィジェットが閉じて、デスクトップには表示されなくなります。


## 8.4 ウィジェット履歴をクリアする

ウィジェット履歴には、デスクトップで使用された最新 50 個のウィジェットが保持されます。デスクトップからウィジェットを削除しても、そのウィジェットをウィジェット履歴から簡単に再度開くことができます。以前に使用したウィジェットをそれ以上履歴に残さない場合は、履歴をクリアすることができます。

1. Windows の通知領域でウィジェットボタンを右クリック(  ) して ► 最新のウィジェット ► その他 ▾ をクリックします。
2. [履歴] ダイアログボックスで、[クリア] をクリックします。

## 8.5 ウィジェットを共有する


レポートパーツと Dashboards ウィジェットは、他のユーザと共有できます。最初に、ウィジェットを .bidml ファイルとして保存してから、そのファイルを他のユーザに電子メールで送ります。受信者がファイルを開くと、ウィジェットにアクセスできます。

1. ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、ウィジェットメニューから、プロパティボタン (  ) をクリックします。
2. [ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスの [エクスポートオプション] の下で、[保存] をクリックします。
3. [ウィジェットの保存] ダイアログボックスで、ファイルの保存場所に移動し、ファイル名を入力して [保存] をクリックします。  
ウィジェットが .bidml ファイルとして保存されます。これで、このファイルを他のユーザに電子メールで送ることができます。

ウィジェットメニューは XBCML ウィジェットには使用できません。この機能は、Web Dynpro アプリケーションを使用して作成された XBCML ウィジェットには適用されません。

## 8.6 ウィジェットの名前を変更する

ウィジェット名は、最新ウィジェットの一覧およびウィジェット履歴に表示されます。

1. ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、ウィジェットメニューから、プロパティボタン (  ) をクリックします。
2. [ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスで、[ウィジェット名] ボックスにウィジェットの名前を入力します。
3. [OK] をクリックします。


ウィジェットメニューは XBCML ウィジェットには使用できません。この機能は、Web Dynpro アプリケーションを使用して作成された XBCML ウィジェットには適用されません。

## 8.7 Web Intelligence ウィジェットを最新表示する

Web Intelligence ドキュメントからウィジェットを作成した場合、ウィジェット内のデータの最新表示方法と頻度を指定することができます。

### i 注記

Dashboards ウィジェットのデータは、Dashboards モデルの設定に基づいて最新表示されます。

1. Web Intelligence ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、**ウィジェットメニュー**から、**プロパティボタン** () をクリックします。
2. **[ウィジェットのプロパティ]**ダイアログボックスの**[最新表示オプション]**から、次のオプションのいずれかを選択します。
  - リポジトリ内の Web Intelligence ドキュメントの最新インスタンスから更新するには、**[最新のインスタンスからデータを取得する]**を選択します。
  - ソースデータベースからデータを更新するには、**[データベースから直接データを最新表示する]**を選択します。

**ウィジェットメニュー**は XBCML ウィジェットには使用できません。この機能は、Web Dynpro アプリケーションを使用して作成された XBCML ウィジェットには適用されません。

## 8.8 Web Intelligence コンテンツをドラッグアンドドロップする

コンテンツを追加するアプリケーションが開いていることを確認してください。

Web Intelligence からウィジェットを作成したら、チャートまたはテーブルなどの Web Intelligence コンテンツを、Microsoft Excel、Word、PowerPoint、または Outlook にドラッグできます。Web Intelligence オブジェクトは、ユーザがそのデータを追加した時にデータのスナップショットを提供します。オブジェクトは静的で、データソースにはリンクされていません。

1. システムトレイから、**[ウィジェット]**を右クリックして、**[ドキュメント一覧エクスプローラ]**を選択します。  
**[ドキュメント一覧エクスプローラ]**ウィンドウの**[エクスプローラ]**ペインに、ドキュメントの一覧が表示されます。
2. **[エクスプローラ]**ペイン内のフォルダを参照して、Web Intelligence ドキュメントが含まれるフォルダを開きます。  
フォルダには、システムで使用可能な Web Intelligence ドキュメントがすべて表示されます。
3. ドキュメント一覧エクスプローラの右のペインから、Web Intelligence ドキュメントを開きます。  
**[Web Intelligence ドキュメントビューア]**が表示されます。
4. コンテンツを選択し、それを Microsoft Word、Excel、PowerPoint または Outlook の開いているコピーにドラッグします。

## 8.9 Web Intelligence ウィジェットのコンテンツをコピーして貼り付ける

Web Intelligence からウィジェットを作成したら、チャート、表、またはセルのテキストなどの Web Intelligence のコンテンツを Microsoft Office アプリケーションや、メモ帳などのクリップボードデータとしてコンテンツを保持できるあらゆるアプリケーションにコピーして貼り付けることができます。


1. ウィジェットを右クリックし、[コピー] を選択します。
2. 開いている Microsoft Office アプリケーションで、右クリックして [貼り付け] を選択します。

## 8.10 Web Intelligence ウィジェットのプロンプト値を表示して設定する

ソースデータベースから直接データを取得する Web Intelligence ウィジェットでは、ドキュメントに対して設定されているプロンプトに値を設定することができます。保存されたデータを使用するウィジェット、または BI プラットフォーム内の最新のドキュメントインスタンスから最新表示されるウィジェットでは、[プロンプト](#)タブを使用できません。

### i 注記

プロンプトは、直接アクセスされる BEx クエリデータに基づく Web Intelligence ドキュメントではサポートされていません。


1. Web Intelligence ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、[ウィジェットメニュー](#)から[プロパティボタン](#) () をクリックします。
2. [[ウィジェットのプロパティ](#)] ダイアログボックスで、[[プロンプト](#)] をクリックします。  
すべての利用可能なプロンプト値が一覧表示されます。
3. [[プロンプト値](#)] をクリックします。  
[[プロンプト値の指定](#)] ウィンドウが表示されます。
4. [[プロンプト値の指定](#)] ウィンドウで、値を入力し [OK] をクリックします。

## 関連情報

[Web Intelligence ウィジェットを最新表示する](#) [20 ページ]

## 8.11 Windows サイドバーにウィジェットを追加する

Microsoft Windows Vista または Windows 7 で Windows サイドバーを使用している場合、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのウィジェットを Windows サイドバーに追加することができます。まず、使用しているコンピュータにウィジェットをエクスポートしてから、Windows サイドバーにガジェットとしてウィジェットを追加します。

1. ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、[ウィジェットメニュー](#)から、[プロパティボタン](#) () をクリックします。
2. [ウィジェットのプロパティ](#) ダイアログボックスの [エクスポートオプション](#) の下で、[保存](#) をクリックします。
3. [[ウィジェットの保存](#)] ダイアログボックスで、保存場所に移動し、ファイル名を入力して [[保存](#)] をクリックします。

ウィジェットが保存され、Windows サイドバーに追加できるようになります。


## i 注記

現在、この機能はセキュリティ上の理由により Microsoft Windows では推奨されておらず、使用することはお勧めしません。

## 8.12 ウィジェットビューの使用

常に表示しておく必要のない多くのウィジェットがある場合、ウィジェットビューを使用して、その他のウィジェットを完全に削除することなく、必要なウィジェットのみを一度に表示することができます。ウィジェットビューは、デスクトップに表示するウィジェットの管理にいつでも役立ちます。ウィジェットをグループ化し、ビューとして保存すれば、必要に応じてビューを切り替えられます。現在のビューに含まれないウィジェットは、表示されていなくても接続されたままになります。ビューバーは、ビューを簡単に作成、編集、切り替える方法を提供します。

### 8.12.1 ビューを作成する

1. Windows の通知領域で**ウィジェット**ボタンを右クリック()し、**[ビューの追加]**をクリックします。
2. **ビューバー**で、ビューの名前を入力し、**[ビューの追加]**をクリックします。  
空のビューが**ビューバー**に追加されます。


いったんビューを作成すると、ビューバーを使用して、名前の変更、削除、ビューへのウィジェットの追加ができます。

### 8.12.2 ウィジェットビューを変更する

ウィジェットビューが複数ある場合、現在必要のないウィジェットの接続を切断したり、削除したりすることなく、簡単に異なるグループのウィジェットに切り替えることができます。

- **ウィジェット**ボタン () を右クリックして、**[ウィジェットビュー]** をポイントし、表示するビューの名前をクリックします。




### 8.12.3 ビューバーの表示/非表示を切り替える

- **ウィジェット**ボタンを右クリック()して、**[ウィジェットビュー]** をポイントし、**[ビューバーを表示する]** または **[ビューバーを非表示にする]** をクリックします。  
ビューバーはデスクトップに表示され、使用可能な各ビューのタブやビューを作成するタブが表示されます。

## 8.12.4 ビューバーを使用する

ビューバーを表示した後、ビューバーを使用して、新しいビューの作成、削除、既存のビューへのウィジェットの追加ができるようになります。

- ビューバーで、次のいずれかを実行します。


オプション	説明
別のビューに切り替える	表示するタブをクリックします。
ビューを作成する	[ <a href="#">ビューの追加</a> ] タブをクリックして、ビューの名前を入力し、[ <a href="#">ビューの追加</a> ] をクリックします。
ビューの名前を変更する	ビューのタブの横にある矢印をクリックして、[ <a href="#">ビュー名の変更</a> ] をクリックします。新しい名前を入力し、 <input type="text" value="Enter"/> キーを押します。
ウィジェットをビューに追加する	ビューのタブの横にある矢印をクリックして、[ <a href="#">ウィジェットを開く</a> ] をクリックします。ビューに追加するウィジェットを選択します。 <div><p><b>i 注記</b></p><p>一覧で使用可能なウィジェットには、デスクトップに追加されているウィジェットのみが含まれます。ウィジェットを作成するには、<a href="#">ウィジェットボタン</a> () を使用して、ディスクからウィジェットを開くか、ドキュメント一覧エクスプローラまたは [コンテンツの検索] オプションにアクセスします。</p></div>
ビューを削除する	削除するビューのタブの横にある矢印をクリックして、[ <a href="#">ビューの削除</a> ] をクリックします。
ビューバーを移動する	<a href="#">移動ボタン</a> (  ) をクリックし、新しい場所にバーをドラッグします。
ビューバーを閉じる	<a href="#">閉じるボタン</a> (  )。

## 9 RSS フィードの使用

RSS は、コンテンツの変更を定期的に配信するためのフォーマットです。購読したサイトから更新されたコンテンツを取得し、デスクトップに概要の通知を配信することにより、情報をいつも入手することができます。

RSS フィードの購読にウィジェット機能を使用すると、RSS の URL でエントリが投稿されると、それらが RSS の受信トレイに表示されます。新しいエントリが受信トレイに届くと、デスクトップメッセージでも、新しいエントリを受信したことが通知されます。RSS の受信トレイとデスクトップメッセージの両方に、新しいアイテムのタイトルが含まれます。タイトルをクリックするとサイトに移動し、完全なエントリを読むことができます。


### 9.1 RSS フィードを購読する

1. ウィジェットボタンを右クリック()を Windows タスクバーで右クリックして、[RSS 受信ボックス]を選択します。
2. [RSS 受信ボックス]ダイアログボックスで、フォルダを選択し、[新しい RSS フィード]をクリックします。
3. [RSS フィードの購読] ダイアログボックスで、RSS の URL を入力し [購読] をクリックします。

フィードがフィード一覧に追加されます。

### 9.2 RSS フィードを最新表示する


RSS フィードを購読したら、通常、サイトのコンテンツが変更された場合はいつでも自動的に更新されます。ただし、接続が失われていても、更新が配信されない可能性があります。コンテンツを最新にするため、フィードを更新することができます。

1. ウィジェットボタンを右クリック()を Windows タスクバーで右クリックして、[RSS 受信ボックス]を選択します。
2. [RSS 受信ボックス]ダイアログボックスで、最新表示する RSS フィードを選択し[最新表示]をクリックします。

RSS フィードのコンテンツが更新されます。

#### 9.2.1 RSS 受信ボックスから RSS フィードを削除する

RSS アイテムが RSS 受信ボックスに配信された場合、タイトルをクリックすると完全なエントリを読むことができます。アイテムを読み終わったら、そのアイテムを受信ボックスから削除できます。

1. ウィジェットボタンを右クリック()を Windows タスクバーで右クリックして、[RSS 受信ボックス]を選択します。
2. [RSS 受信ボックス]ダイアログボックスで、削除する RSS フィードアイテムを選択し、[削除]をクリックします。

選択したアイテムが一覧から削除されます。



# 法的側面に関する重要免責事項

この文書は、情報提供のみを目的としています。その内容は予告なしに変更される場合があります。又、SAP はその内容に間違いがないことの保証を行いません。SAP は、商品性又は特定目的との適合性に関する明示的又は暗示的保証も一切行いません。

## コードサンプル

この文書に含まれるソフトウェアコード及び / 又はコードライン / 文字列 (「コード」) はすべてサンプルとしてのみ提供されるものであり、本稼動システム環境で使用することが目的ではありません。「コード」は、特定のコードの構文及び表現規則を分かりやすく説明及び視覚化することのみを目的としています。SAP は、この文書に記載される「コード」の正確性及び完全性の保証を行いません。更に、SAP は、「コード」の使用により発生したエラー又は損害が SAP の故意又は重大な過失が原因で発生させたものでない限り、そのエラー又は損害に対して一切責任を負いません。

## アクセシビリティ

この SAP 文書に含まれる情報は、公開日現在のアクセシビリティ基準に関する SAP の最新の見解を表明するものであり、ソフトウェア製品のアクセシビリティ機能の確実な提供方法に関する拘束力のあるガイドラインとして意図されるものではありません。SAP は、この文書に関する一切の責任を明確に放棄するものであり、この文書により直接又は間接的に契約上の義務又は誓約が発生することは一切ありません。

## ジェンダーニュートラルな表現

SAP 文書では、可能な限りジェンダーニュートラルな表現を使用しています。文脈により、文書の読者は「あなた」と直接的な呼ばれ方をされたり、ジェンダーニュートラルな名詞 (例: 「販売員」又は「勤務日数」) で表現されます。ただし、男女両方を指すとき、三人称単数形の使用が避けられない又はジェンダーニュートラルな名詞が存在しない場合、SAP はその名詞又は代名詞の男性形を使用する権利を有します。これは、文書を分かりやすくするためです。

## インターネットハイパーリンク

SAP 文書にはインターネットへのハイパーリンクが含まれる場合があります。これらのハイパーリンクは、関連情報を見いだすヒントを提供することが目的です。SAP は、この関連情報の可用性や正確性又はこの情報が特定の目的に役立つことの保証を行いません。SAP は、関連情報の使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。リンクの分類に関しては、<http://help.sap.com/disclaimer> を参照してください。

[www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2014 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する情報および表示の詳細については、<http://www.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx> をご覧ください。